

学生記者の

多摩ぶらり散歩

9

新選組のふるさと日野市

中央大学の周辺には、さまざまな史跡をはじめ、豊かな自然やお楽しみスポットが数多くある。でも、意外と気づいていなかったり、知っていてもなかなか行くチャンスがなくて、いつも素通りという人が多いのではないだろうか。そこで学生記者がお薦めスポットを紹介する。題して『学生記者の多摩ぶらり散歩』。はたして、何やら新発見がありますでしょうか。

豊かな自然に抱かれた日野市

中央大学がある八王子市の東隣に位置する日野市は、「新選組のふるさと」として知られている。市内には多摩川が流れ、豊かな自然に抱かれて、今は閑静な住宅地が広がる。新選組副隊長の土方歳三や六番隊長の井上源三郎は、この地に生まれ、多摩川の流れをみながら育った。

日野市には、中大生も多く住む。多くの学生が利用する多摩都市モノレールの駅でいうと、多摩動物公園から甲州街道までが日野市だ。多摩川の土手に座って目を閉じれば、幕末の時代に思いをはせることができそうな気がして、「新選組のふるさと」を歩いてみた。

佐藤道場があった日野宿本陣

土方歳三が近藤勇と出会う

JR中央線日野駅から徒歩12分のところに、日野宿本陣（日野市本町2-15-9）がある。日野宿は甲州街道の5番目の宿場町で、日野宿本陣建物は都内で唯一現存する本陣建築だそうだ。

歴史を感じさせる人口の冠木門をくぐると、木々に囲まれたなかに重厚な屋敷が建っている。風格ある切り妻瓦葺の屋根が印象的だ。周辺は夏を感じさせない涼しさで、心地よい風が通りすぎる。静かで、時間の流れがいつもよりゆっくりと感じられる。

入館料（大人200円、小人50円）を払って、西側の土間から入館する。しばらく一人で建物内を見ていると、案内役の石堂清三さんが来てくださった。石堂さんは、時間をかけて日野本宿はじめ甲州街道の歴史や新撰組について話をしてくれた。

日野宿は1605年に八王子宿を整備した代官、



都内で唯一現存する日野宿本陣

大久保長安の手によって開かれた。大きな宿場ではなかったが多摩川の渡し場を管理するなど甲州街道の重要拠点であった。本陣は1849年の大火によって主屋を焼失してしまい、現存する建物は1863年に上棟した。

建物を再建し、再建翌年から屋敷に住みはじめたのが佐藤彦五郎で、屋敷の東側に天然理心流の佐藤道場を開いた。この道場に、江戸にあった天然理心流の試衛館から近藤勇や沖田総司を呼んで、

稽古をつけてもらっていた。そこで土方は近藤と出会ったといわれている。

幕末にタイムスリップ 女性に圧倒的人気の土方

「この座敷で土方さんが昼寝をしたといわれているんです」と屋敷内を案内しながら石堂さんが説明した。そう聞かされた途端、幕末にタイムスリップし、今にも土方歳三が昼寝をしに現れるような気がしてきた。

中学生の女の子が、案内役の石堂さんに熱心に新選組のことを尋ね始めた。石堂さんはにこやかに1つ1つの質問に時間をかけて丁寧に答えてい



本陣内の部屋

た。

中学生に見学に来た理由を尋ねると、「小学生の時に歴史の本を読んで、土方さんが好きになってしまったんです」と照れながら話してくれた。そして、「ここで土方さんが育ち、近藤さんとの出会い、武道に励んでいたと思うと嬉しい」と誇らしげに語った。

石堂さんは、「最近は若い女性の方が多く訪れてくれます。日野の祭りのときには土方さんの恰好をした女性もたくさん目にします」と土方が女性に人気があることを話してくれた。近藤と土方が出会ったと言われる佐藤道場は、焼失してしまつて今は存在しないが、この場所で彼らが出会い、『志』を同じくして共に武道に励んでいたのだと思うととても感慨深い。

歴史的資料を多数展示 新選組のふるさと歴史館

新選組についてもっと知りたいという方におすすめののが、JR日野駅からバスで10分ほどにある日野市立「新選組のふるさと歴史館」(日野市神明4-16-1)だ。ここでは日野市や甲州街道の歴史、新選組の関連資料を数多く展示している。平成22年3月に常設された「新選組のふるさと歴史館」では、展示室入口付近の企画コーナーに、甲州道中日野宿、幕末維新、自由民権運動などに関する資料が、随時、展示品を替えながら展示されている。



「新選組ふるさと歴史館」

展示以外に、歴史館及び東京都指定文化財日野宿本陣、日野宿交流会館を会場とした講座や講演会も随時開催している。天然理心流の展示や「土方歳三になろう」というコーナーもあり、新選組の衣装や旅人衣装を借りて、記念写真も撮れる。ここでも若い女性の入館者が多いそうだ。

幕末維新に思いを馳せながら、日野市が「新選組のふるさと」として歴史ある地域であることを肌で感じる事ができた「多摩からり散歩」だった。

(学生記者 宮寺理子 法学部2年)